

【作り方説明書】

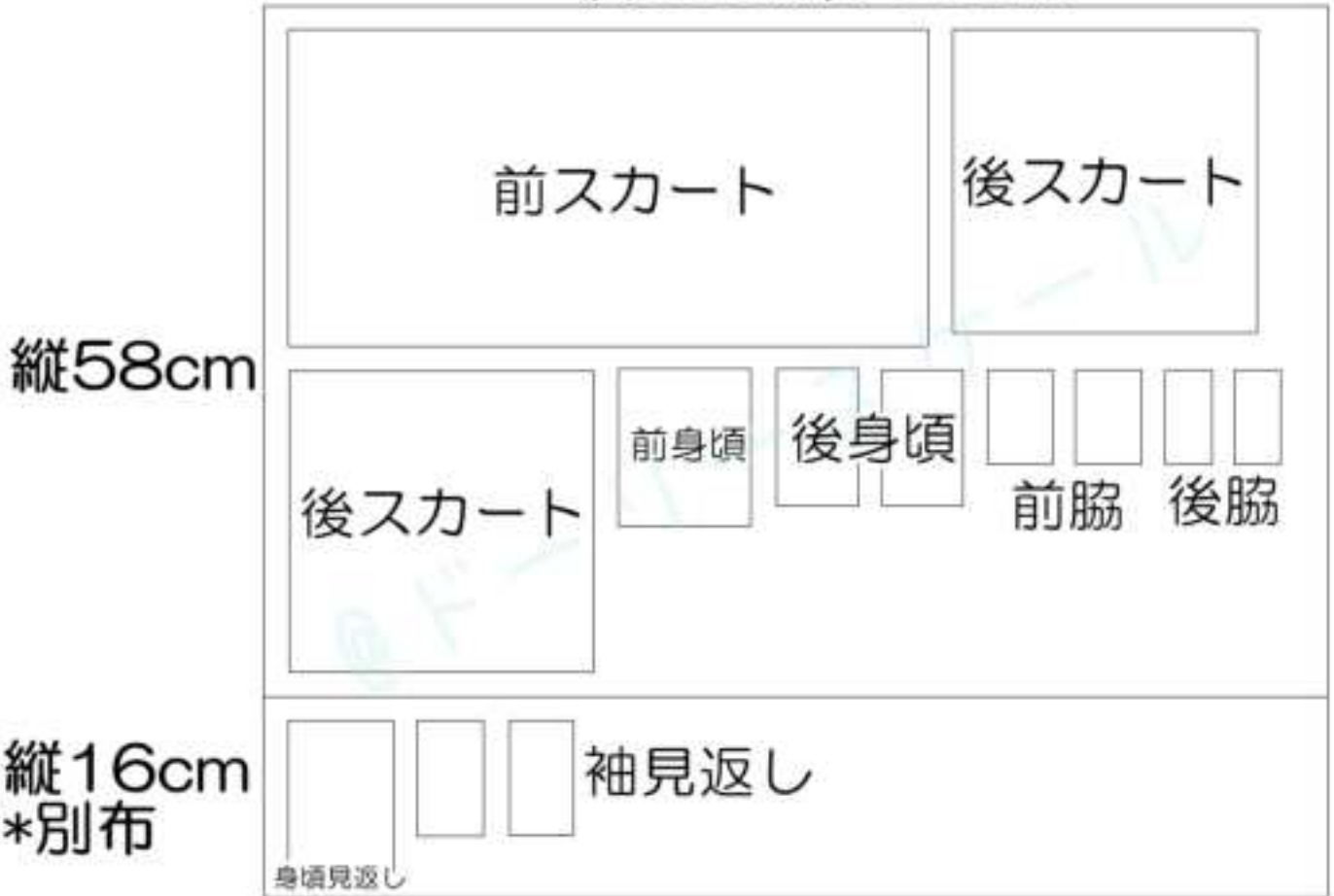
ボックスプリーツワンピースの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <p>・58cm ソフビ M (スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.22-0.37mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通～やや薄手の生地 ・薄手の生地(裏地用) ・コンシールファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①②後スカート 2枚→左右反転して各1枚ずつ</p> <p>③④後脇 2枚→ //</p> <p>⑤⑥前脇 2枚→ //</p> <p>⑦⑧後身頃 2枚→ //</p> <p>⑨前スカート 1枚→そのまま1枚</p> <p>⑩身頃見返し 1枚→ //</p> <p>⑪⑫袖見返し 2枚→左右反転して各1枚ずつ</p> <p>⑬前身頃 1枚→そのまま1枚</p> <p>合計：13枚 のパーツで構成</p>

■必要な布量参考数値

【ボックスプリーツワンピースの型紙 58cmM】

横90cm, 110cm



【ボックスプリーツワンピースの型紙 58cmM】

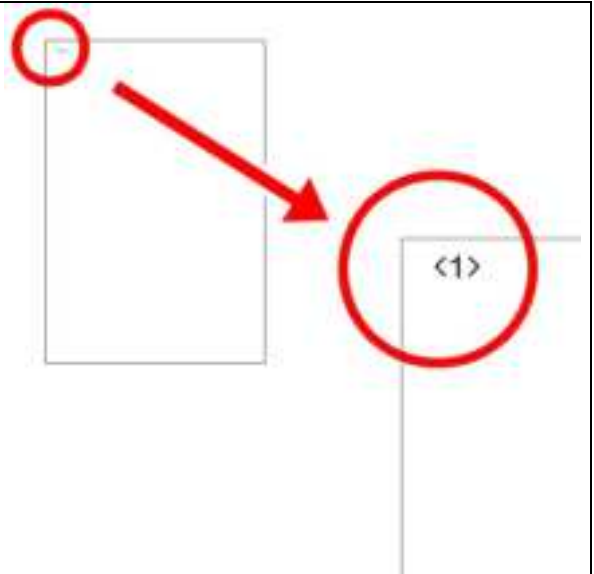
横140cm

縦39cm

縦16cm
*別布

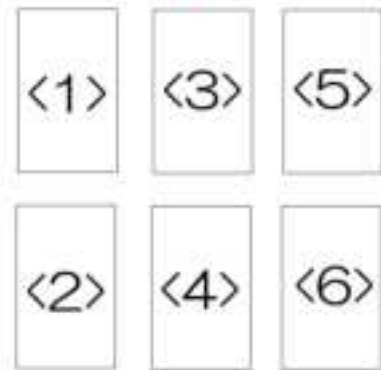
01. 型紙を貼り合わせる。※一例を挙げて説明しています。

- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。
- 番号は型紙の左上に記載。
- ※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。
- 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
- 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

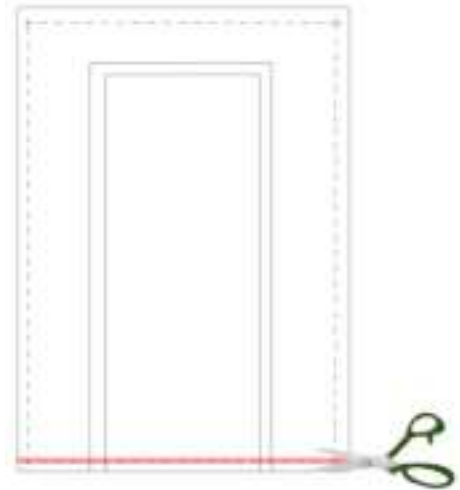


- ② <1>の型紙に記載されている通りに
型紙を並べる。

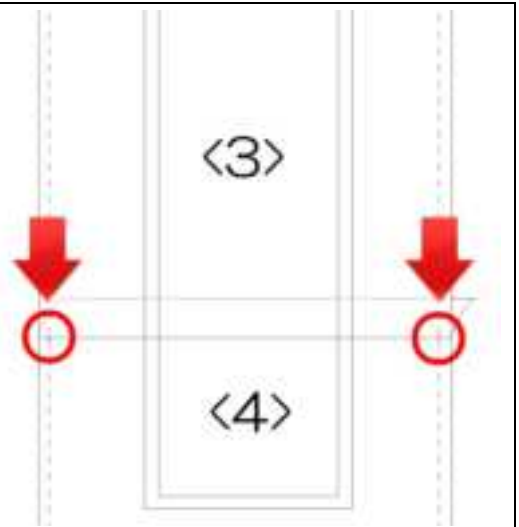
「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。



- ③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

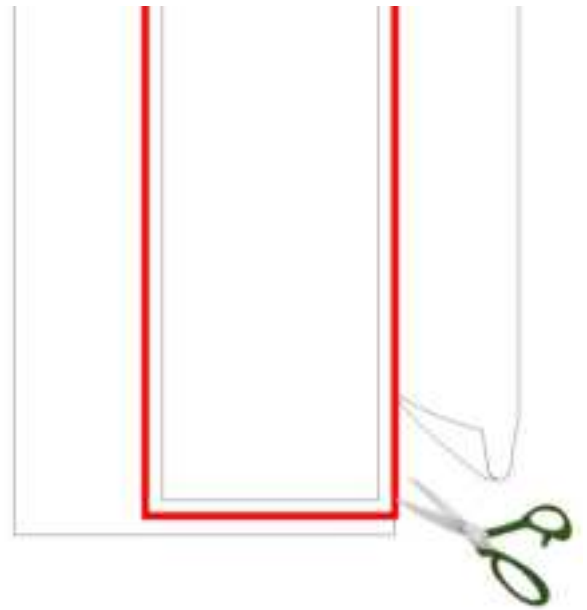


- ④ <5>の上部のガイドに③の下部を
合わせて、表裏両方をテープで留める。



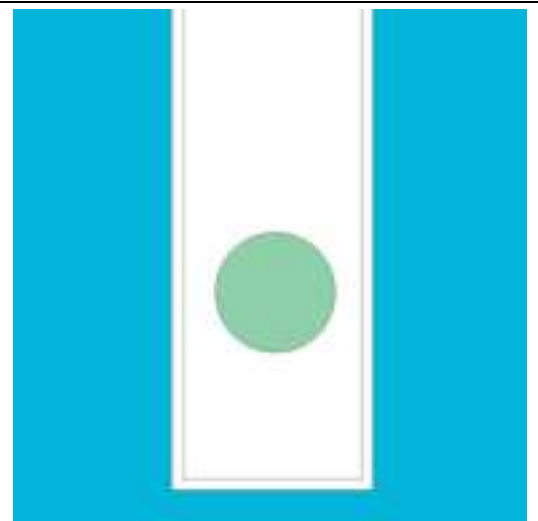
02. 型紙を切り取る。

〔02~07の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



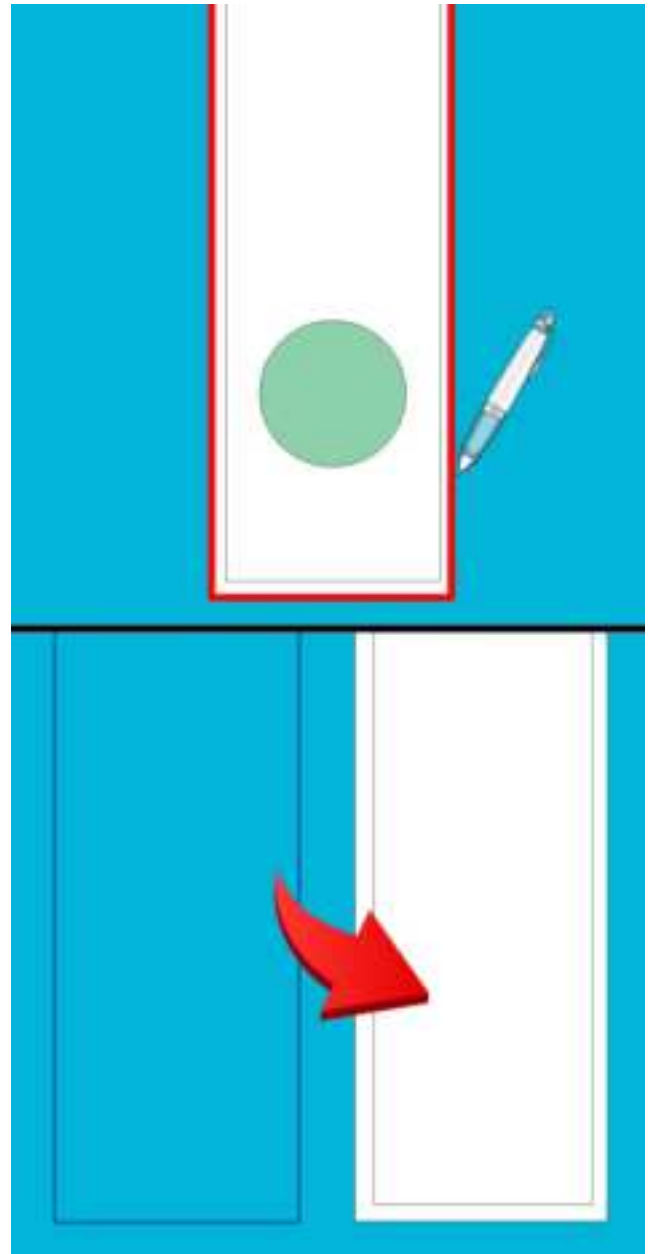
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で
型紙が動かない様にする。〕

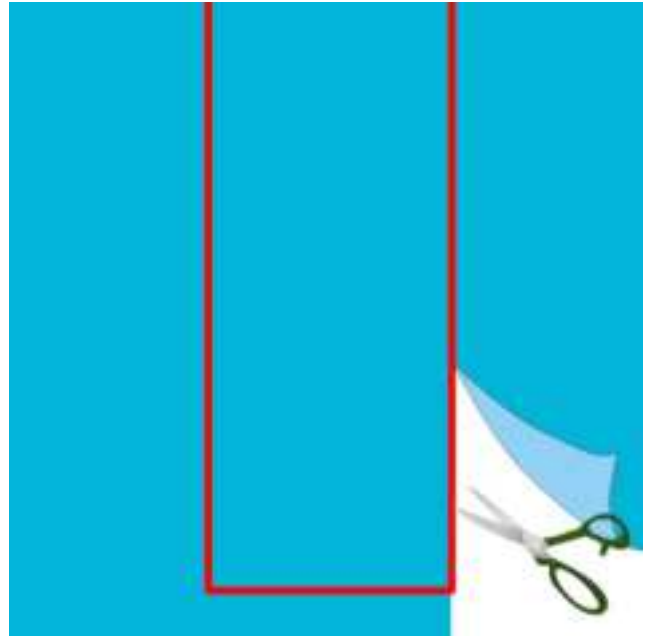


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
 - ・カリスマシャープペンシル
 - ・クロバー 水性チャコペン

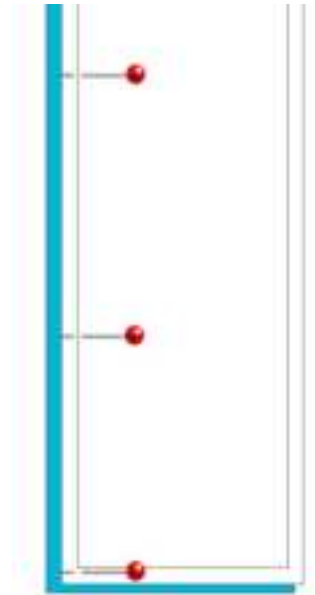


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕

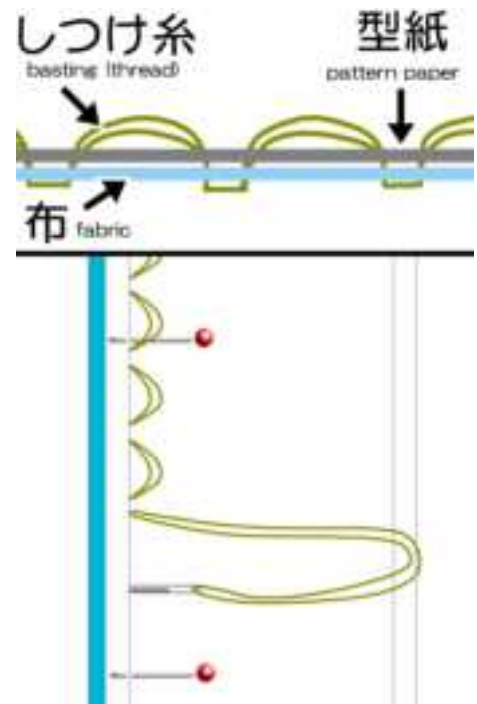


- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す
- B. 布を刺す
- C. 0.3cm 程度すくうように縫う
- D. 型紙を刺す
- E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



布の表
right side

- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。

型紙側
Paper pattern side

合い印
matchmarks

布の表
right side

④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

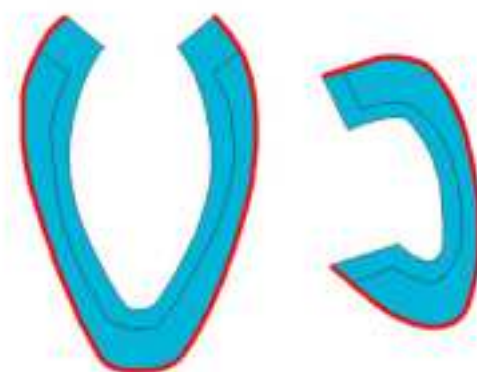
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 身頃見返し、袖見返し×2 にを解れ止め液を塗る。



Tips: 解れ止め液の代わりに、半田ごてで布を溶かして切る方法もある。



09. 前身頃のカーブに切り込みを入れる。

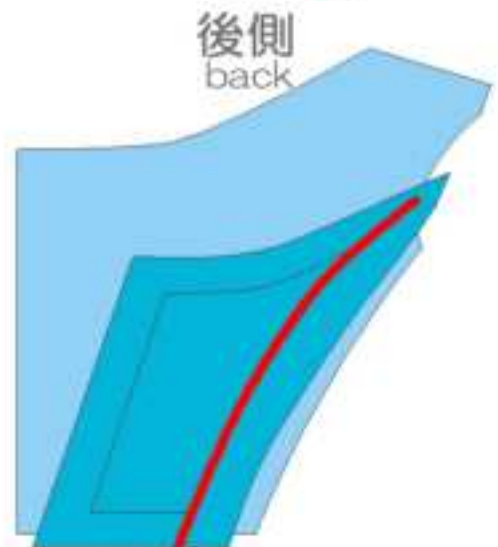


10. 表が内側になる様に、後身頃と後脇を合わせて縫う。

前身頃と前脇も同じように縫う。

ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、
ミシンをやめて手縫いでも OK。

反対側も同じように縫う。



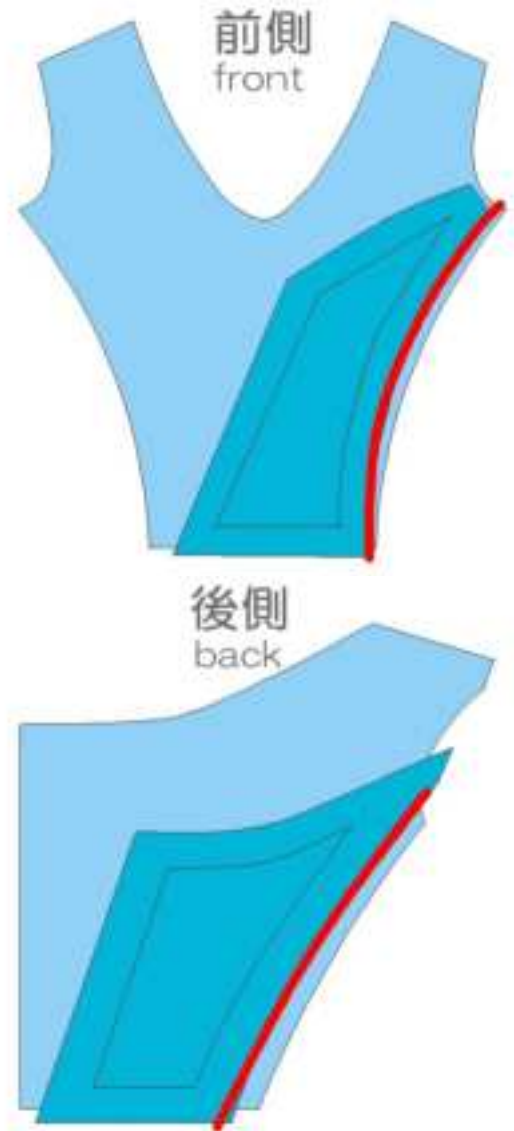
11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

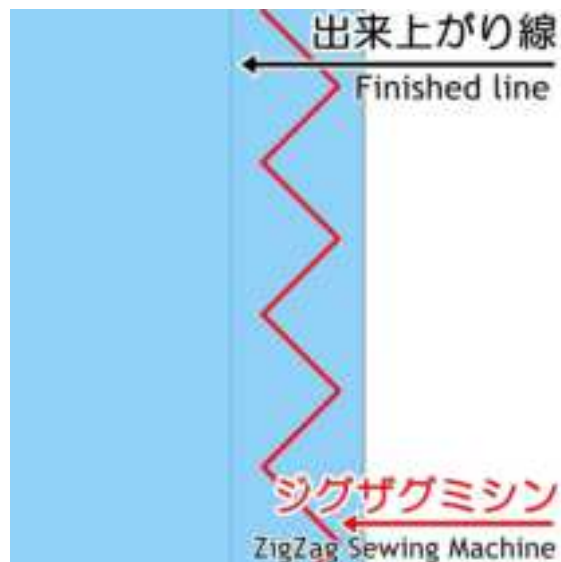
しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



12. 身頃と脇の縫い代を2枚一緒に、ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。
反対側も同じように縫う。





13. 縫い代を前身頃に倒して、アイロンをかける。

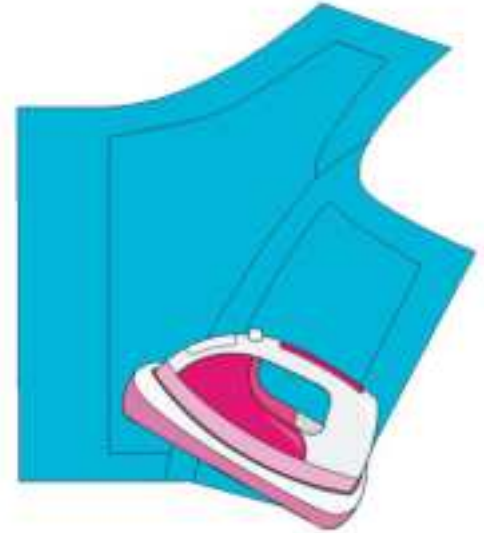


横から見た時
Side view

前脇
front side

前身頃
front bodice

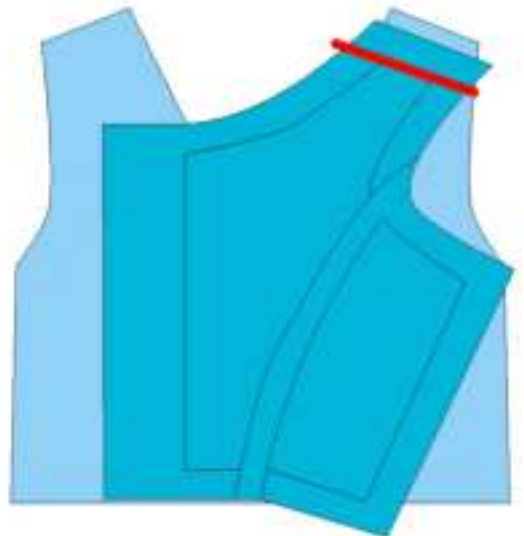
14. 縫い代を後身頃に倒して、アイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



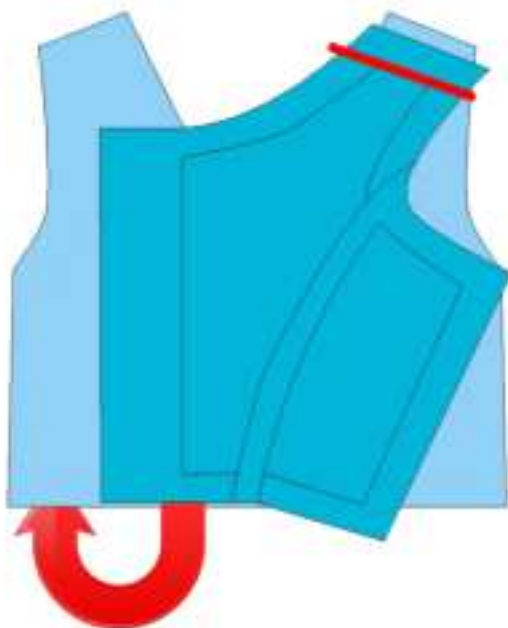
下から見た時
View from below



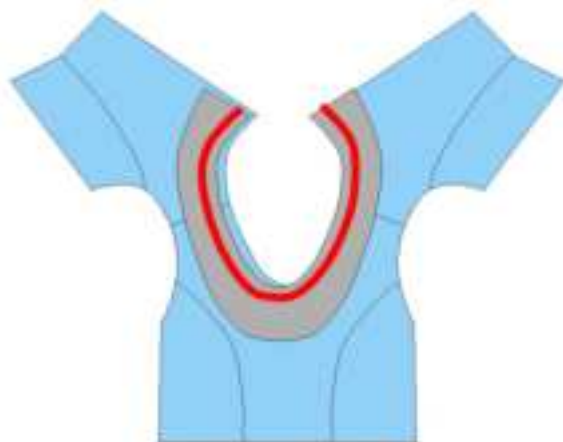
15. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



16. 肩の縫い代を開いてアイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



-
17. 表が内側になる様に、身頃と身頃縁を合わせて縫う。



18. 縫い代を2~3mm程度にカットする。



19. 見返しをひっくり返す。

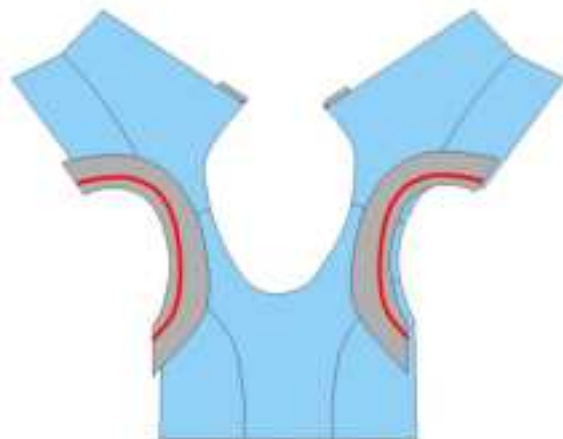




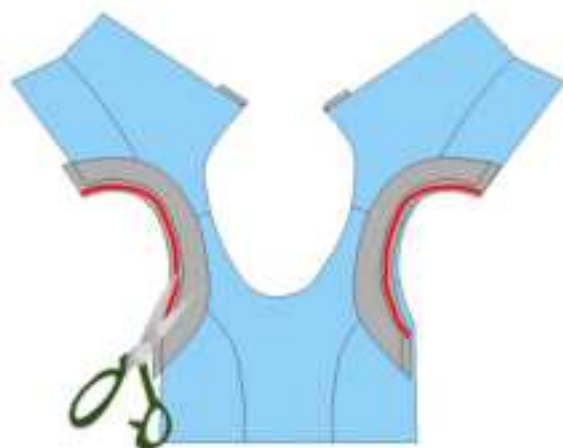
20. 縁を縫う。



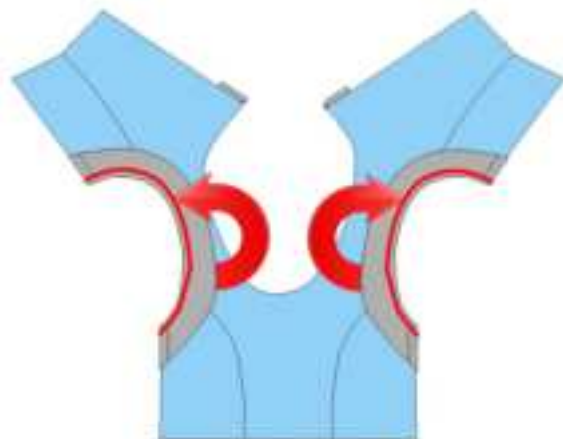
21. 表が内側になる様に、袖見返しと身頃を合わせて縫う。



22. 縫い代を2~3mm程度にカットする。



23. 見返しをひっくり返す。





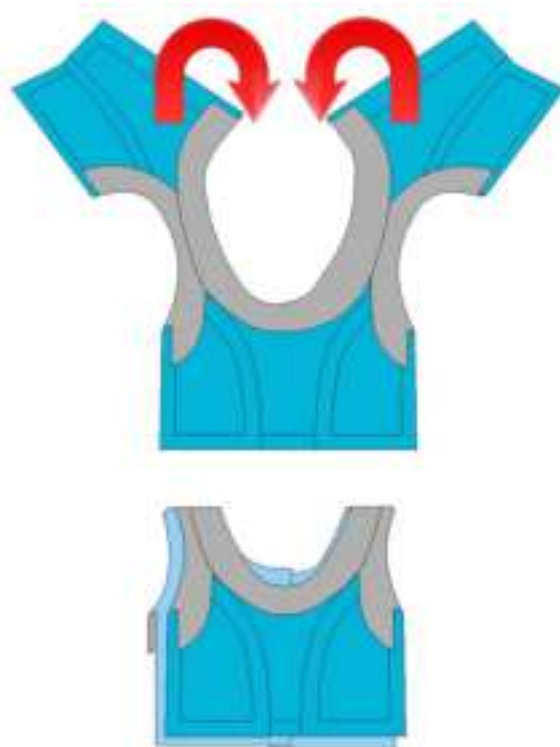
24. 縁を縫う。



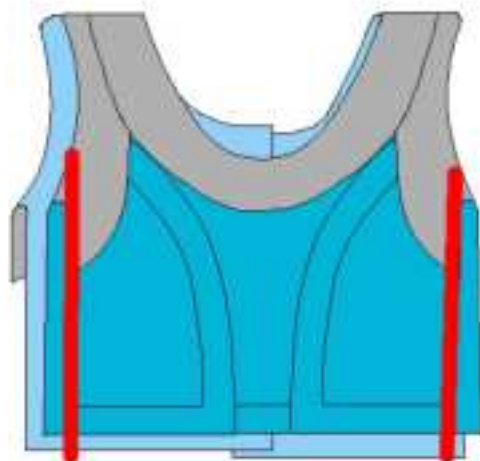
25. 脇にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



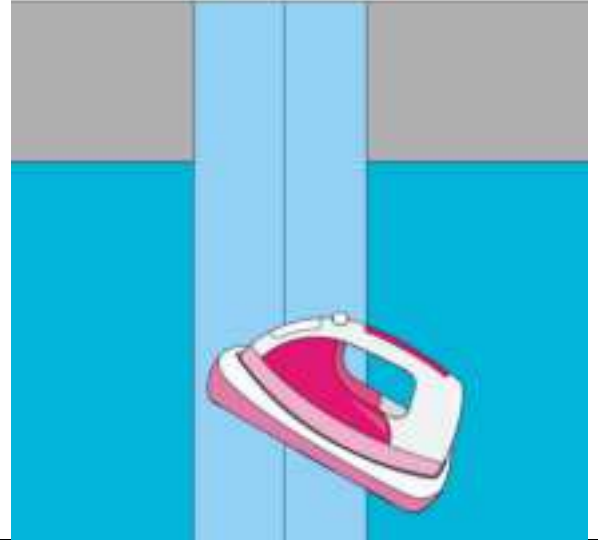
26. 表が内側になる様に、脇を合わせる。



27. 脇を縫う。



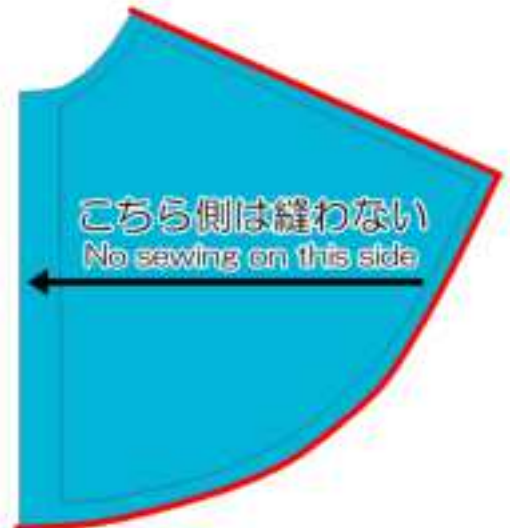
28. 脇の縫い代を開いてアイロンをかける。



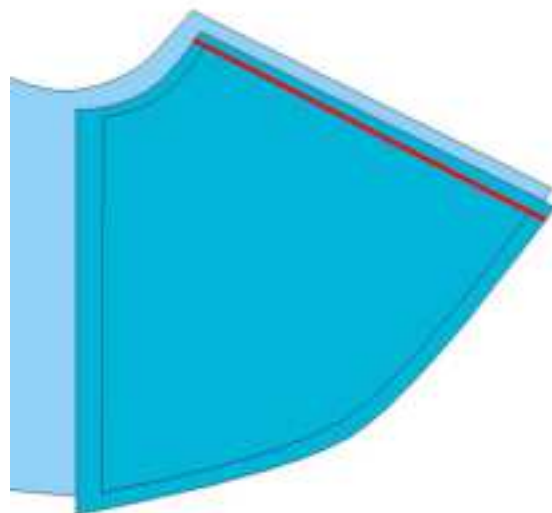
29. 前スカートの縁にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



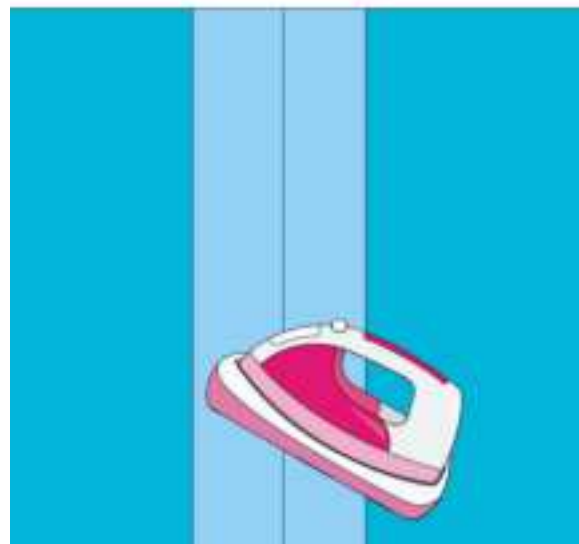
30. 後スカートの縁にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



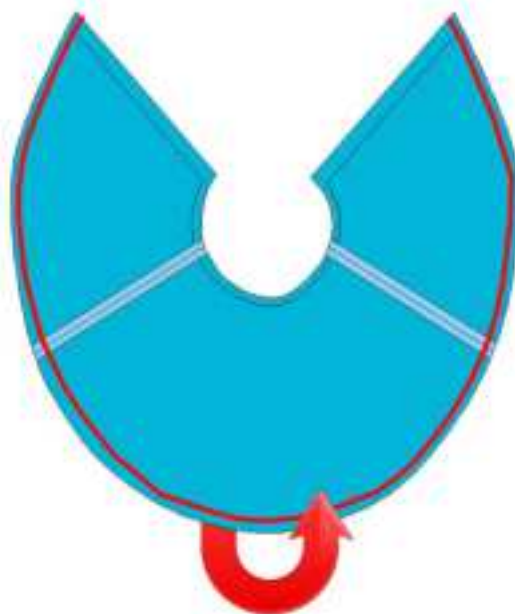
31. 表が内側になる様に、
前スカートの脇と後スカートの脇を合わせる。
〔 反対側も同じように縫う。〕

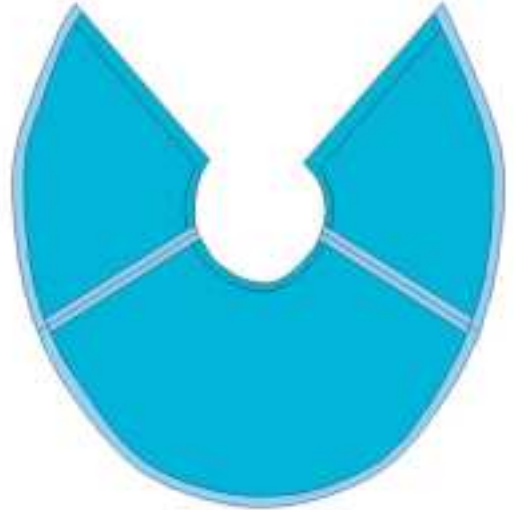


32. 脇の縫い代を開いてアイロンをかける。

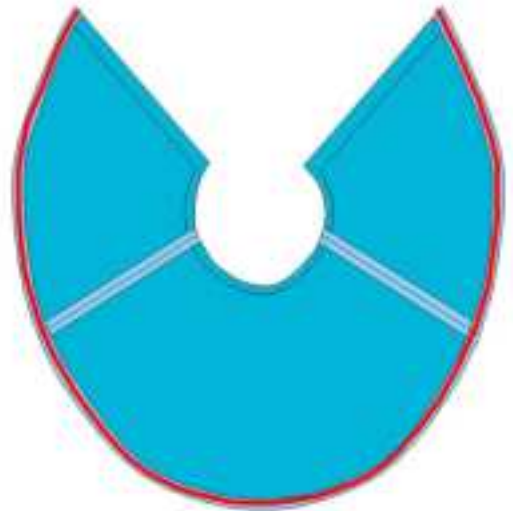


33. 裾を折る。



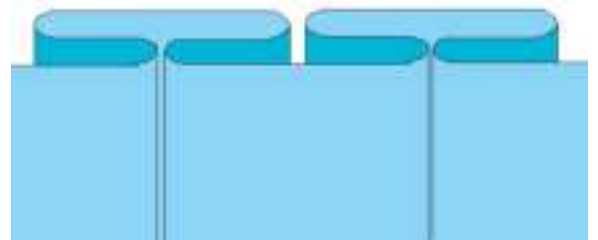


34. 縁を縫う。

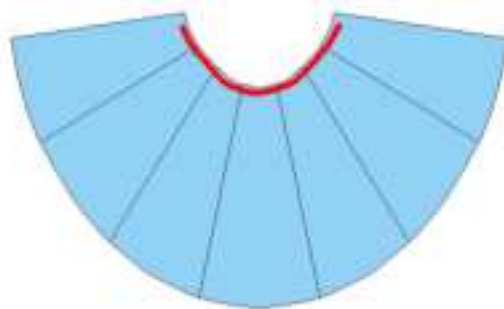


35. プリーツを折ってアイロンを掛ける。

〔 型紙に書いてある“山折線”“谷折り線”に従って折る。〕



36. スカート上部を仮縫いする。



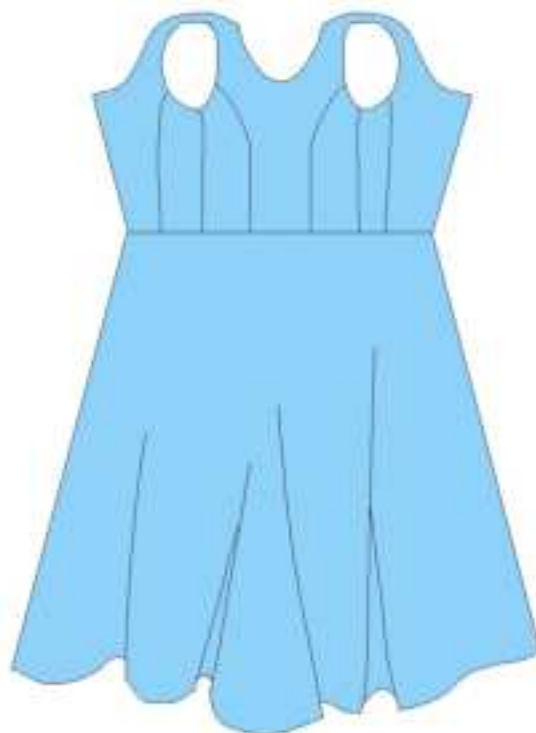
37. 表が内側になる様に、スカートと身頃を合わせて縫う。



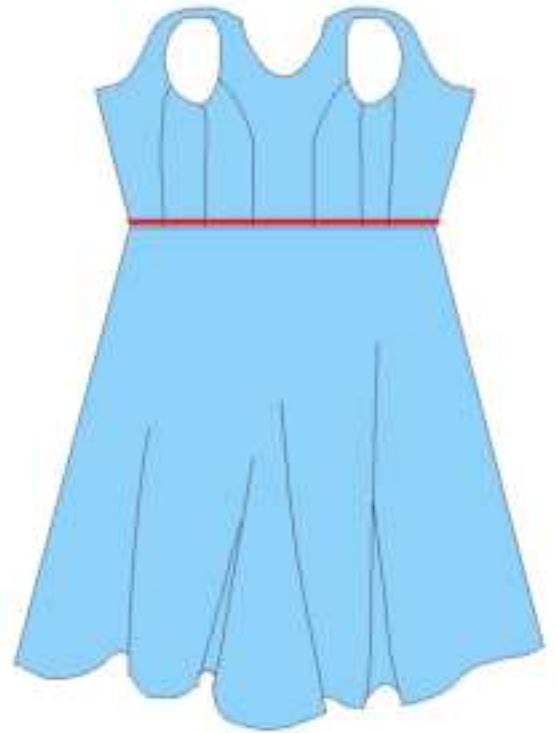
38. ウエストの縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



39. 身頃を上に乗す。



40. 身頃の縁を縫う。
〔縫い代は身頃側に倒す。〕

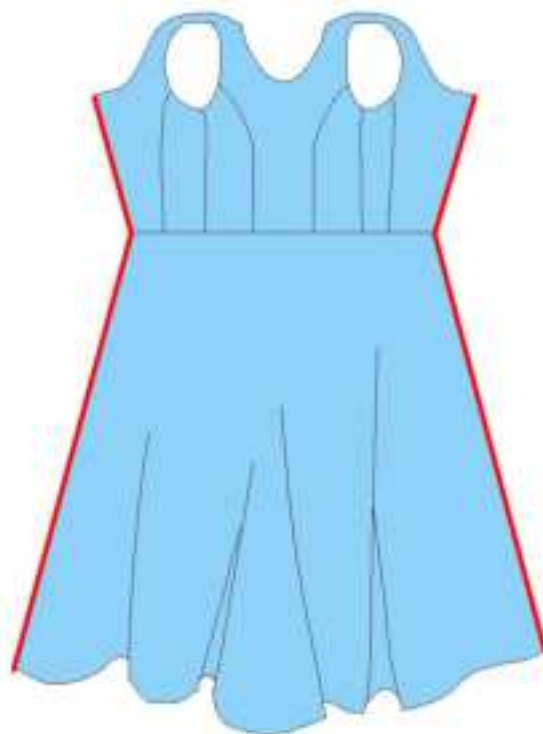


横から見た時
side view

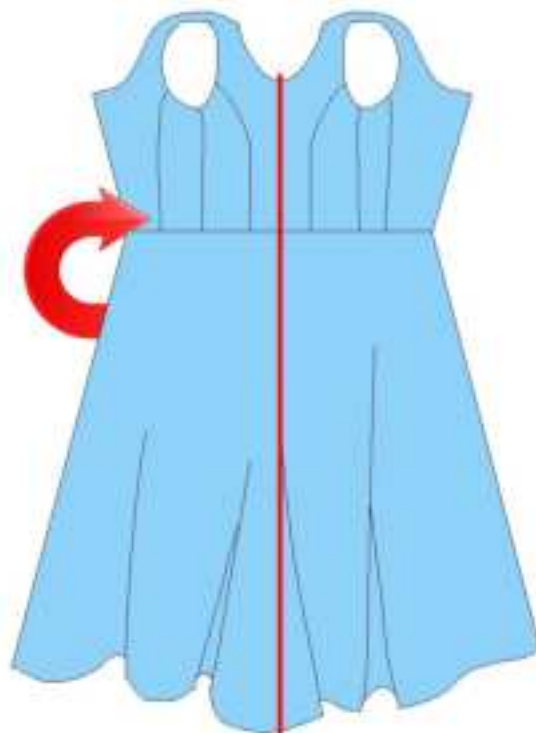
身頃
bodice

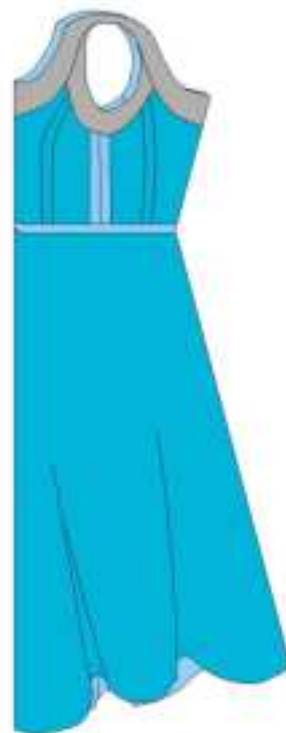
スカート
skirt

41. 脇にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



42. 表が内側になる様に、後中心を合わせる。





43. 身頃から開き止まりまでを 4mm 程度の縫い目で縫う。

〔仮止めなので返し縫はしない。〕

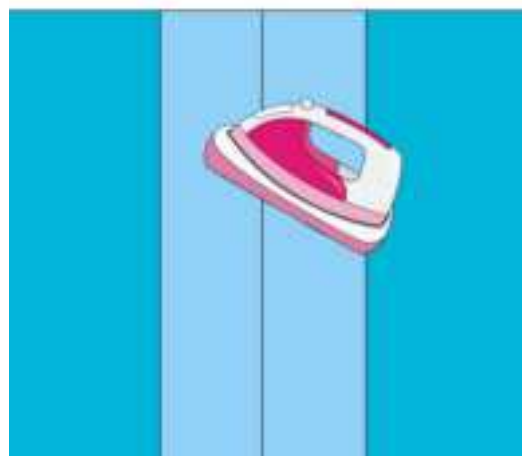


44. 43で縫った下から裾までを普通の縫い目で縫う。

〔ここは解れない様に返し縫いをする。〕

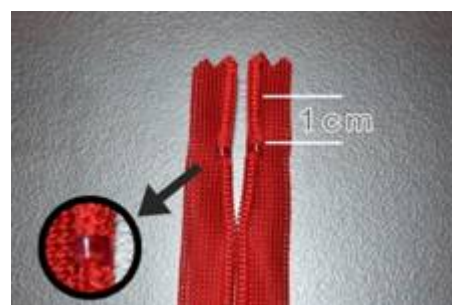


45. 縫い代を左右に開いて、アイロンをかける。

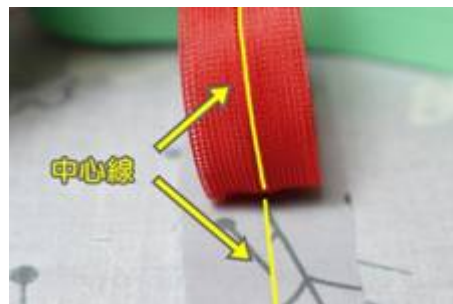


46. コンシールファスナーの上部を1cmになる様に切る。

〔コンシールファスナーの上部に透明の“上止”があるので、その上を1cmに切る。〕

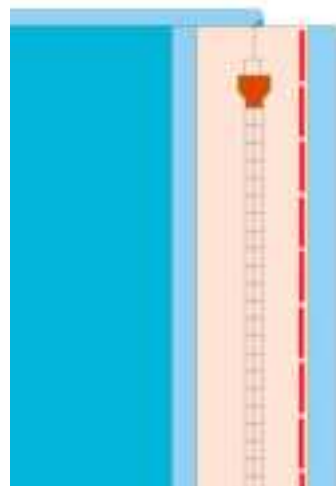


47. コンシールファスナー中心と、34 で開いた縫い目を合わせる。



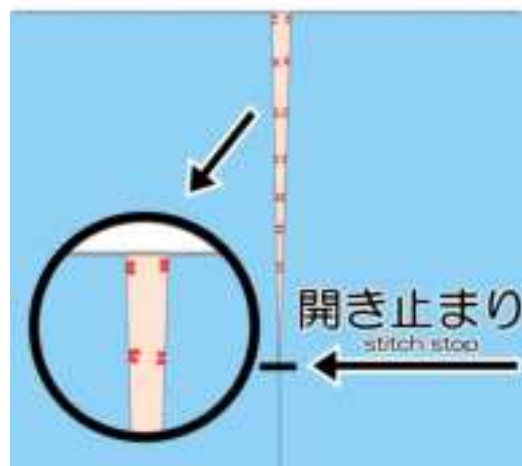
48. 仮止めをする。反対側も同じように縫う。

〔スカート本体は避けて、ファスナーと縫い代のみを縫う。〕



49. 身頃から開き止まりまでの糸を切る。

〔開き止まりから下の糸を切らない様に注意。
リッパーを使うと切りやすい。〕



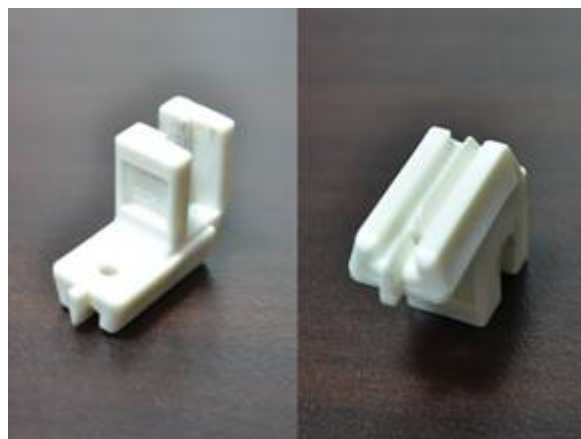
50. ミシンにコンシールファスナー押さえを取り付ける。

右図の様なアタッチメントも売られている。

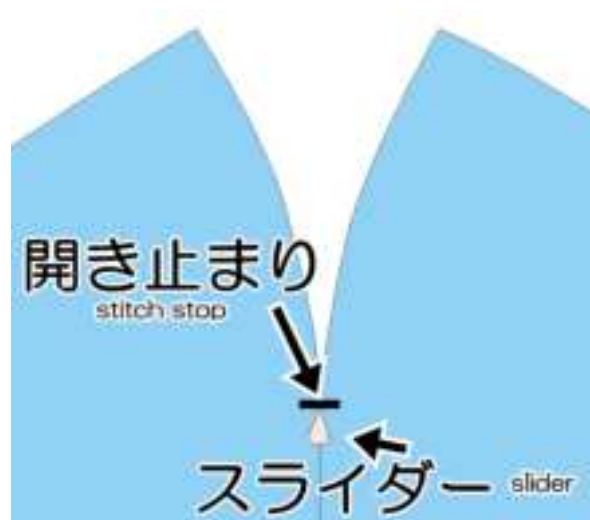
おすすめは**ミシンの純正品**、もしくはミシンの
対応メーカー名が記載された物。

無記名のものは場合によっては、

ミシンに合わない事もあるので注意。



51. スライダーを開き止まりまで下げる。



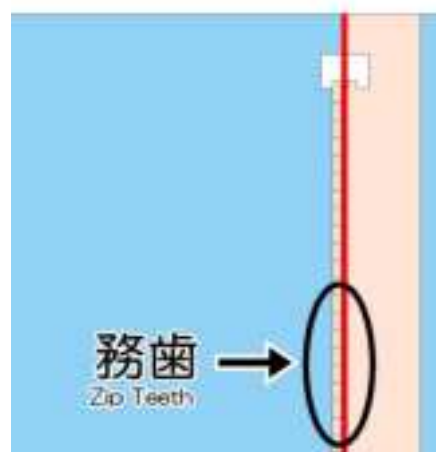
52. 務歯(むし)を押さえの溝に入れて、開き止まりまで縫う。

反対側も同じ様に縫う。

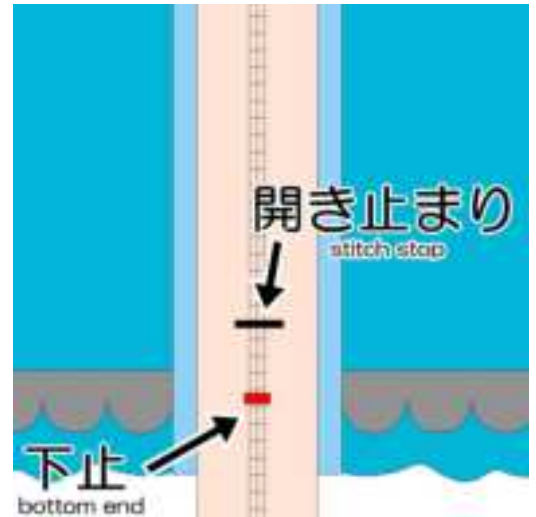
スカート表から縫う。

布端が右の時は左側の溝に、布端が左の時は
右側の溝に務歯を入れる。

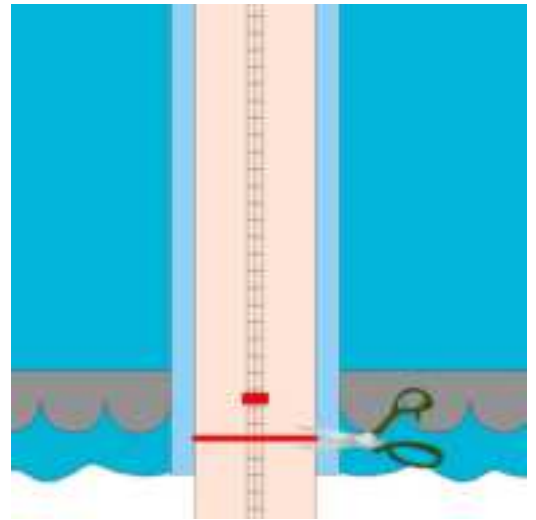
務歯：ファスナーを開閉する為に歯の様に
なって連なっている部分の事。



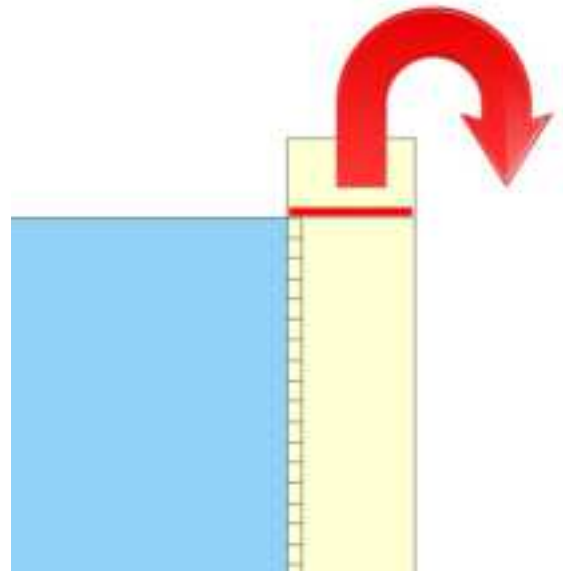
53. 下止の金具を、開き止まりの1cmくらい下に移動して、ペンチで潰して動かない様にする。

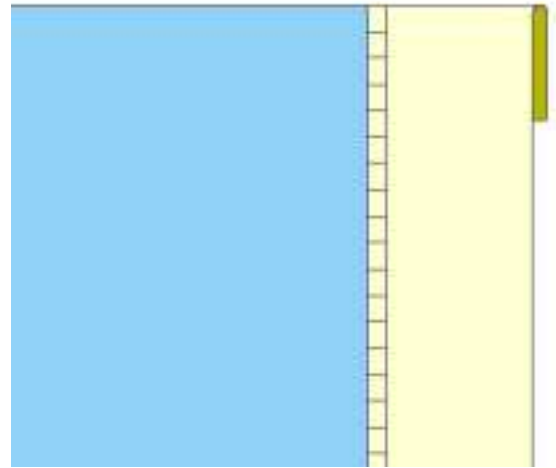


54. 下止の下、1cmくらいをハサミでカットする。

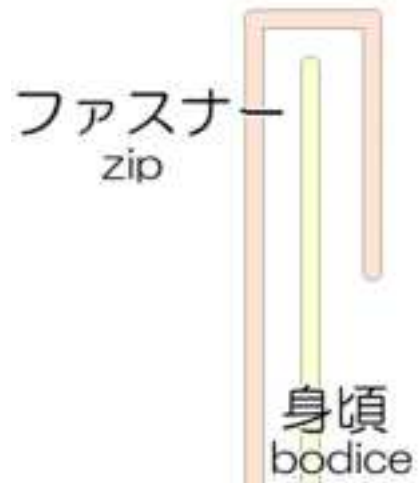


55. 身頃から出ているファスナーを裏へ折る。

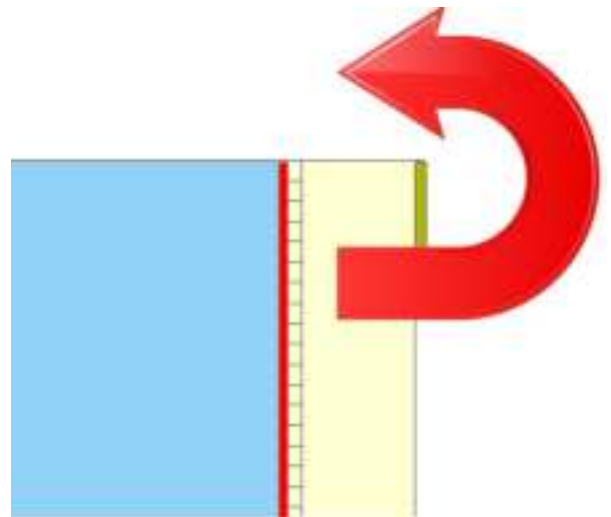


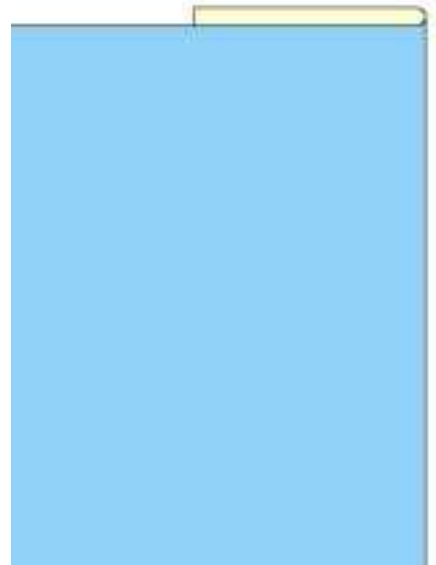


横から見た時
side view

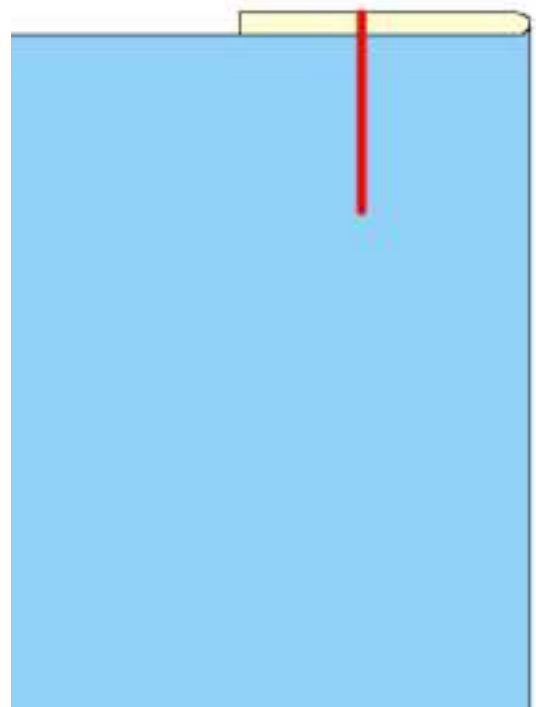


56. ファスナーと縫い代を身頃へ折る。





57. 折り返したところと身頃を 7mm 位縫って固定する。



お疲れ様でした！